

## 令和2年度 第二期子育て応援プラン 実施状況

## 【総評】

計画の達成状況を評価する「成果指標」について、現状値（平成30年度）と令和2年度実績を比較すると、「合計特殊出生率」は0.04ポイント低下し、「0歳から14歳までの人口」は627人少なくなりました。

一方で、「子育てしやすいまちだと思える割合」は7.7ポイント、「子どもを産みやすい環境のまちだと思える人の割合」は6.7ポイント高くなりました。

人口維持については厳しい状況ではありますが、子育て環境についてはコロナ禍でできることに取り組んできた結果であると考えています。

令和元年に発生した新型コロナウイルス（COVID-19）の世界的流行により、感染拡大を防ぐための「新しい生活様式」が提唱され、市民生活は大きく変容しました。コロナ禍で人とつながりにくくなっていることで、子育てに不安を感じている（孤育て）母親・父親もいる状況です。

感染を防ぐため予定していた施策がすべて順調とはいきませんでした。コロナ禍なりに対応できた施策もありました。

今年度は子育てアプリの導入をはじめ、ICTを活用した新しい子育て支援を実施します。子育て情報の発信強化を進めるとともに、誰もが安心して子育てができる環境づくりを一層推進します。

なお、令和元年10月から実施されている幼保無償化により全国的に慢性的な人手不足となっており、本市も同様に人材確保が急務となっています。

幼児教育・保育人材の確保については、市内保育園の魅力発信をはじめ、地域人材の協力・協働による運営、潜在保育士の発掘、養成校に対し地元就職への促進についてさらなる協議を進めます。

## 【参考 計画の成果指標】

評価項目	現状値	令和2年度実績	現状値との差	目標値 (令和6年度)
合計特殊出生率	1.72	1.68 <sup>※1</sup>	△0.04	1.84
0歳から14歳までの人口	13,075人	12,448人	△627人	12,507人
子育てしやすいまちだと思える割合	63.9%	71.6%	+7.7%	66.0%
子どもを産みやすい環境のまちだと思える人の割合 (20歳～49歳の回答)	33.2%	39.9%	+6.7%	40.0%

※1 推計値。確定数値は令和3年度9月末日発表

(令和2年度市民意識調査結果)

## 基本目標1：子ども子育て支援の推進

【主な事業実施状況】※「参考指標・項目」の令和6年度の数値は目標値ではなく、事業規模を示す指数

「③児童虐待防止対策」の子ども・子育て支援事業【こども家庭応援センター 相談対応件数】は令和2年度で1,165件、うち新規相談件数は669件でした。

### ①教育・保育事業の充実

- ・保護者のニーズに合わせ、公立保育所の保育必要量の時間変更、開所時間の変更を実施。
- ・未満児保育の受入数が10名増加。
- ・安定的な教育・保育が行えるよう保育人材コーディネーターを1名配置。

### ②在宅育児応援サービスを拡充

- ・コロナ渦であることから数値上では充足率はふるわないが、実施内容で新しい生活様式に沿った新たな取り組みを実施することができた。

### ③児童虐待防止対策を推進

- ・子ども・子育て支援事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
こども家庭応援センター相談 対応件数	1,205件	1,165件	1,500件	77.7%
令和2年度新規相談件数669件：・児童虐待相談件数97件 ・育成相談件数294件 (うち発達支援相談93ケース、延べ111回)・その他(保健・障害・非行など)278件				

- ・子育て支援ネットワーク事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
実務者会議・研修会	8回	5回	8回	62.5%

## 基本目標2：母性並びに乳児及び幼児の健康の確保及び増進

### 【主な事業実施状況】

「結婚・出産・子育ての希望に寄り添う相談・支援体制の確保」の母子健康手帳交付事業【産婦健診受診者】の直近の現状値(平成30年度)と令和2年度の指標を比較すると、受診者数・延べ件数ともに令和2年度が大幅に高くなり、令和6年度の事業規模に近づいた指数となりました。一方、中学生・高校生を対象とした【母子保健学習事業】はコロナの影響で見合わせとなりました。

### ①結婚・出産・子育ての希望に寄り添う相談・支援体制の推進

- ・結婚相談支援事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
結婚イベント回数	28回	12回	31回	38.7%
結婚相談登録	210名	176名	230名	76.5%
結婚成立	15名	5名	17名	29.4%

- ・母子健康手帳交付事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
母子保健コーディネーター 面接妊婦数	814人	798人	680人	117.4%
アセスメント開催回数	73回	80回	85回	94.1%
産婦健診受診者	受診者326名 延べ573件	受診者625名 延べ1,116件	受診者667名 延べ1,267件	93.7% 88.1%

・産後ケア事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
助産師相談件数	546件	340件	450件	75.6%

・乳児家庭全訪問事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
訪問件数	751人	642人	667人	96.3%
訪問実施率	98.9%	97.0%	100%	

・乳幼児健康診査等事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
乳幼児健診受診率	96.4%	96.9%	100%	
遊びの広場の実施	12回	10回	12回	83.3%

②子育ての学び合いの推進

・パパママ教室事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
参加延べ人数	364人	222人	300人	74.0%
うち夫や家族の数	110人	107人	100人	107.0%

・母子保健学習事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
中学校実施数	—	見合わせ	全学校	
高校実施数	4校	見合わせ	5校	

基本目標3：子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備

【主な事業実施状況】

「⑤食育活動の推進」の食育の推進【朝食夕食を家族と一緒に食べる共食率（朝食・夕食）】の直近の現状値（平成30年度）と令和2年度の指標を比較すると、朝食・夕食ともに令和2年度が高い結果となり、令和6年度の事業規模に近づいた指数となりました。

①いいだ型自然保育の推進

- ・「いいだ型自然保育」の魅力発信。
- ・リーフレット作成（オールカラー・30頁）。
- ・上村保育園PR動画制作（3本）。

②環境教育の推進

- ・子ども自ら「3R」の推進を図り、ごみの分別を学ぶ機会を設定。
- ・生ごみ処理機を使用した堆肥づくりの実施。

③コミュニティスクールの推進

・飯田型キャリア教育推進事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
小中一貫キャリア教育の推進 (小学校・中学校)	19校・9校	19校・9校	19校・9校	100.0%

④放課後子どもプランの推進

- ・丸山、竜丘、下久堅、追手町、座光寺の5か所で実施。

⑤食育活動の推進

- ・食育の推進

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
朝食夕食を家族と一緒に食べる共食率(朝食・夕食)	朝食 56% 夕食 62%	朝食 59% 夕食 64%	朝食 61% 夕食 65%	
公共の教育施設における、主要野菜10品目における年間を通じた地元農産物利用率(小中学校・効率保育園)	学校 42% 保育 45%	学校 46.8% 保育 42.6%	学校 46% 保育 48%	
離乳食講座の実施	24回	15回	24回	62.5%

基本目標4：職業生活と家庭生活との両立の推進

【主な事業実施状況】

ほとんどの事業で令和6年度の事業規模指数に沿った展開ができました。

①夫婦が、お互いを尊重し合いながら子育てと仕事を両立する働き方を提唱

- ・「みんなで子育てナビ」「いいだパパナビ」の編集・発行

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
みんなで子育てナビ発行	1,300部	1,300部	800部	162.5%
いいだパパナビ発行	1,000部	800部	800部	100.0%

- ・「孫ナビ」の編集・発行

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
孫ナビの発行	-	1,600部	1,600部	100.0%

- ・ながの子育て家庭優待パスポート事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
ながの子育て家庭優待パスポート協賛店舗数	233件	238件	250件	95.2%

- ・休日保育事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
実施園(飯田中央保育園)	1か所	1か所	1か所	100.0%

②介護と子育ての両立のための相談支援を推進

- ・ダブルケアの相談窓口事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
ダブルケア相談窓口の設置	1か所	1か所	1か所	100.0%

### ③仕事と家庭生活の調和を図る「ワーク・ライフ・バランス」事業の推進

#### ・ワーク・ライフ・バランス推進事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
セミナーの実施 (企業向け、一般向け)	2回	2回	2回 (令和4年度)	100.0%
企業訪問の実施	227社	5社	新規訪問	

### 基本目標5：きめ細やかな支援の推進

#### 【主な事業実施状況】

「①特別な配慮が必要な子どもへの、寄り添い型支援を推進」の途切れない発達支援体制整備事業【放課後デイサービス利用児童】【計画相談利用児童】、就学相談支援事業【就学相談説明会】【特別支援教育支援員数】【特別支援教育コーディネーター】、「③子育てに係る経済的負担を軽減」の不妊及び不育症治療費助成事業【不妊治療費助成件数】、保育料等の軽減事業【副食費免除対象者数】が令和6年度の事業規模指数を超える結果となりました。

#### ①特別な配慮が必要な子どもへの、寄り添い型支援を推進

##### ・途切れない発達支援体制整備事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
福祉型児童発達支援利用児童	45人	48人	50人	96.0%
放課後デイサービス利用児童	245人	278人	250人	111.2%
計画相談利用児童	290人	304人	300人	101.3%
サービスを利用する障がい児の割合	71%	71.36%	75%	
親子支援グループ「ゆいっこ」参加家庭	-	29組	40組	72.5%
入園前発達支援学級「ばななクラブ」参加家庭	15組	10組	15組	66.7%

##### ・就学相談支援事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
就学相談説明会	90人	146人	90人	162.2%
特別支援教育支援員数	42人	44人	43人	102.3%
特別支援教育コーディネーター	28人	50人	28人	178.6%

#### ②ひとり親家庭の自立と、進学・就職の夢をサポート

##### ・ひとり親自立支援事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
児童扶養手当の支給	833世帯	962世帯	事業継続	
高等職業訓練促進支給	1件	2件	5件	40.0%
母子父子寡婦福祉資金の貸付	33,677千円	6,180千円	事業継続	

#### ③子育てに係る経済的負担を軽減

##### ・不妊及び不育症治療費助成事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
不妊治療費助成件数	113件	149件	100件	149.0%
不育症治療費助成件数	0件	0件	5件	0%

・妊婦健診費助成事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
妊婦健診費利用者数	1,208人	1,039人	1,070人	97.1%

・児童手当支給事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
児童手当支給数(延べ)	150,740人	142,057人	事業継続	
児童手当支給金額	1,680,055千円	1,574,310千円	事業継続	

・子ども医療費給付

事業参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
子ども医療費助成	130,719件	109,376件	122,000件	89.7%

・保育料等の軽減事業

参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
保育料軽減率	35.75%	35.64%	事業継続	
副食費免除対象者数 (国制度上乘せ)	-	336人	325人	103.4%

・就学援助事業(児童クラブ軽減含む)

事業参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
学用品援助対象者	1,013人	1,032人	事業継続	

・奨学金貸与事業

事業参考指標・項目	直近の現状値 (平成30年度)	令和2年度	令和6年度	R2/R6*100
奨学金貸与者	45人	35人	事業継続	

**基本目標6：地域みんなで支え合う子育て・子育ての推進**

**【主な事業実施状況】**

令和6年度の事業規模指数の設定はありませんが、各事業がコロナ禍の中で工夫して事業に取り組むことができました。

①「地域の子を地域で育てる」子育て支援の地域づくりを推進

**【おめでとう赤ちゃん訪問活動事業】**

- ・民生児童員・主任児童委員により、4カ月児のいる家庭に対し家庭訪問を希望する家庭に対して家庭訪問を実施。コロナ禍においても、玄関先のみにするなど工夫をしながら訪問活動を継続し、子育ての孤立を防いだ。

②安全安心なまちづくりを推進

**【青少年育成事業】**

- ・青少年健全育成月間(わが家の結いタイム推進月間) 情報発信(3回)
- ・飯田市PTA連合会と合同で青少年健全育成活動への協力依頼を事業所に対し通知にて依頼。

**【子どもの見守り活動推進事業】**

- ・一日警察署長イベント時に防犯協会と協働した青少年に対する啓発活動の実施。
- ・引き続き警察等関係機関との情報共有を密にし、見守り活動を継続する。

**【中山間地域振興事業】**

- ・子育て世代が、親世代との近居や同居を目的に家を新築・増築するための支援を実施。

### ③地育力による子育て応援を推進

#### 【居場所づくり事業】

- ・夏休みや春休みの長期休業の子どもの居場所と学習支援として、公民館を利用した寺子屋や子ども教室などの事業を地域住民と共に行った。
- ・地域の人材を活用し、地域に関する様々な分野の体験活動を通じ子どもの探求心を育む事業等を学校や家庭などの関係者と連携して公民館で実施。
- ・令和3年度も今年度同様、コロナ禍の感染症対策を徹底したうえで、子どもの様々な学習機会と居場所を確保していく。

### ④教育・保育人材の確保を、地域の中から発掘

#### 【教育・保育人材確保事業】

- ・民間保育所等が取り組む人材確保のための各種補助金を新設。

#### 【地域協働型保育所等運営モデルの推進】

- ・丸山、上久堅、川路、三穂保育園の長時間保育の地元人材の雇用。